



Japan Foundation for
Regional Art-Activities

地域創造レター

News Letter to Arts Crew

12月号—No.367

2025.11.25

(毎月1回25日発行)



軽井沢大賀ホール「軽井沢少年少女合唱団&軽井沢ファミリーオーケストラ クリスマスコンサート」

●目次／contents

クリスマス&年越し・新春企画特集

公演カレンダー.....2

今月の情報.....6

地域通信／アーツセンター情報

財団からのお知らせ.....10

令和8年度「公共ホール音楽活性化事業(おんかつ)」[公共ホール邦楽活性化事業]スタッフ募集／令和8年度ステージラボ開催地のお知らせ／令和7年度「公立文化施設における政策評価等のあり方に関する調査研究」実態把握アンケートご協力のお願い／WEBでの情報発信のお知らせ／令和7年度市町村長特別セミナー「地域経営塾」終了報告

今月のレポート.....12

岩手県陸前高田市 国際共同制作『髪長姫』—アジアの響き、未来への祈り—ワーク・イン・プログレス



クリスマス&年越し・新春企画特集

恒例の「クリスマス&年越し・新春企画特集」の季節となりました。定番のプログラムからユニークな企画まで、各地の取り組みを一挙にご紹介します。

☎は会場、📍は問い合わせ先です(📍は地域創造助成事業)。

クリスマス企画

●宮城県白石市 12月21日 山司恵莉子クリスマスパイプオルガンコンサート

今年8月にドイツで行われたヴッパータール国際オルガンコンクールで見事第1位を獲得した宮城県出身の山司恵莉子がホワイトキューブの専属オルガニストに就任。ホワイトキューブの音楽ホールは世界でも類例のない内外壁とも透明ガラス造りで、残響時間が長いホールとしても有名。パイプオルガンに適した会場でクリスマスコンサートを堪能できる。

☎ホワイトキューブ大林組コンサートホール

📍白石市文化体育活動センター(ホワイトキューブ)

Tel. 0224-22-1290

●茨城県水戸市 12月20日 クリスマス・プレゼント・コンサート2025

毎年恒例、水戸出身の作曲家・池辺晋一郎による企画とおはなしで贈るクリスマスコンサート。今年はメゾ・ソプラノや吹奏楽、サクソフォン、ヴァイオリンの豪華な演奏家たちによる4ステージを一度に楽しむことができる。さらに、クリスマスプレゼントが

当たる抽選会や、開演前のプレ演奏・終演後のアフター演奏など、音楽とともに心華やぐ時間を届ける。

☎水戸芸術館

📍水戸市芸術振興財団

Tel. 029-227-8111

●栃木県大田原市 12月14日 パイプオルガン&白鷗大学ハンドベルクワイア・クリスマスコンサートVol.12

きらめく音色と美しい照明で、クリスマスの雰囲気をつくりだす。楽しめる4歳から入場できるコンサート。白鷗大学ハンドベル部によるドボルジャーク「新世界より」、ジャン＝フィリップ・メルカールトによるパイプオルガン：モーツァルト「きらきら星変奏曲K.265」のほか、両者の共演も実施。公演前には少年少女合唱団のクリスマス・キャロリングがお出迎え。

☎📍那須野が原ハーモニーホール Tel. 0287-24-0880



昨年のクリスマスコンサート

●さいたま市 12月20日

Candle Art Night & 第141回 光の庭プロムナード・コンサート トワイライト・スペシャル

劇場内のオープンスペース「光の庭」で小型のパイプオルガン「ポジティブ・オルガン」の魅力をお届けする約40分間のミニコンサート。今回は「バラのまち中央区アートフェスタ」との共同開催。出演は新妻由加(オルガン)と上村誠一(カウンターテナー)。キャンドルの灯りとともに、クリスマスにちなんだ名曲などを奏でる。

☎📍彩の国さいたま芸術劇場

Tel. 048-858-5500

●東京都調布市

12月13日～21日

親子のクリスマスシアター 『木島平のカロ』

調布の姉妹都市、長野県木島平村を舞台にしたオリジナル作品を、せんがわ劇場が擁する舞台芸術活動家グループ「DEL(デル)」のメンバーである尾崎太郎の脚本、芸術監督の小笠原響の演出で上演する。少年と新しい友達との出会いと冒険、それを見守る父親のまなざしを描いた心温まる物語。木島平村の特産品販売や赤ちゃんOKデーなどの鑑賞サポートも実施予定。

写真

左上：クリスマス・プレゼント・コンサート(茨城県水戸市)

右上：アリタ・マシュマロ・クリスマス(佐賀県有田町)

左下：防府音楽祭(ほうふニューイヤーコンサート)(山口県防府市)

右下：まるがめ第九演奏会(香川県丸亀市)

☎調布市せんがわ劇場
Tel. 03-3300-0611

●川崎市 12月20日
MUZAパイプオルガン クリスマス・コンサート2025～大木麻理 & 20人のトランペッターズ～
2018年4月から8年間にわたりホールオルガニストとして活躍してきた大木麻理の任期最終公演となるクリスマス・コンサート。クリスマスソングやオルガンの華やかな名曲の数々を、マルチに活躍するトランペッター奏者・佐藤友紀率いる20人のトランペッター奏者との共演でお届けする。来場者限定のクリスマス抽選会やパイプオルガン体験(限定5人)なども開催。
☎ミュゼ川崎シンフォニーホール Tel. 044-520-0200



2022年クリスマス・コンサートの様子
©平館平

●新潟市 12月19日
りゅーとびあオルガン・クリスマスコンサート2025
りゅーとびあ専属オルガニストの濱野芳純が、新潟市ジュニア合唱団出身で現在はミュージカルや舞台俳優として活躍する中野太一を迎え、クリスマスの夜を彩る特別なオルガンと歌のプログラムを贈る。G.F.ヘンデル『オンブラ・マイ・フ』のほか、讃美歌では新潟市ジュニア合唱団も加わり、クリスマスを祝い、祈りを込めて歌う。
☎りゅーとびあ新潟市民芸術文化会館 Tel. 025-224-7000

●石川県金沢市
12月24日、25日

ステージアートの世界
指揮に松井慶太を迎え、クリスマスにオーケストラ・アンサンブル金沢による演奏とバレエの世界をお届けする。オーケストラの生演奏の中、第一夜は『くるみ割り人形』全幕、第二夜は『光』～能登への祈り～を公演。第二夜では石川県出身の三野洋祐の監修・振付のもと、K-BALLET TOKYOの山本雅也をはじめとしたバレエダンサーが踊る豪華な公演プログラムとなっている。
☎金沢歌劇座
☎石川県音楽文化振興事業団
Tel. 076-232-0171

●山梨県南アルプス市 12月6日
クリスマスオルガンコンサート2025
毎年恒例のクリスマスコンサート。今回は、川越聡子(パイプオルガン)と吉村結実(オーボエ)を迎え、聖なる調べをお届けする。また、「東京駅からのツアー」を今年も実施。こちらはコンサートのほかに、フジクレールワイナリーでのタンク室の案内とワインのテイスティング、フルーツパーク富士屋ホテルでのランチも楽しむことができる。
☎桃源文化会館 桃源ホール
Tel. 055-284-3411

●長野県軽井沢町 12月7日
軽井沢少年少女合唱団&軽井沢ファミリーオーケストラ クリスマスコンサート
軽井沢少年少女合唱団と軽井沢ファミリーオーケストラによる、毎年恒例の2団体合同のクリスマスコンサート。クリスマスソングやヘンデルのオラトリオ『メサイア』よりハレルヤなどが披露される。入場無料但未就学児も入場可能。公演前にはヴァイオリンやチェロの演奏体験、軽井沢ファミリーオーケストラメンバーによるミニコンサートも

楽しめる。
☎軽井沢大賀ホール
Tel. 0267-42-0055

●岐阜県岐阜市 12月7日
フォーラム21少年少女合唱団とサラマンカ少年少女合唱団のクリスマス・コンサート
岐阜市と愛知県一宮市で活動する2つの子ども合唱団のコンサート。両合唱団は清流の国ぎふ文化祭2024「愛と平和を歌う合唱フェスティバル」で共演し、岐阜県七宗町で見つかった最古の石と現代人との対話を歌にした『二十億年前の石』の初演に参加。本公演では『二十億年前の石』が合唱団とピアノ伴奏用に新たに編曲され、未来へ歌い繋げる願いを込めて演奏される。
☎サラマンカホール
Tel. 058-277-1113

●愛知県安城市 12月5日、6日
アンフォーレのクリスマス2025
イルミネーションとともに、安城市中心市街地拠点施設「アンフォーレ」の各所でコンサートや造形ワークショップ、マルシェなどさまざまな催しが楽しめる2日間のクリスマス恒例企画。併せて、近隣の商店街と連携したクイズ企画「まちもじラリー」や商店街ツアーのほか、複合する図書情報館ではクリスマス絵本の展示も行われる。
☎アンフォーレ、近隣商店街
☎アンフォーレ
Tel. 0566-76-1400

●三重県伊賀市 12月21日
子ども表現力育成事業 IGAエンターテインメントミュージカル『サタンクロース☆』
伊賀市文化会館では、平成22年度から令和2年度までの10年間で、公募によるミュージカル上演を実施。コロナ禍の一時中断を経て約5年ぶりのリニュー

アル開催となる。今回は、悪魔と天使の交流を描くオリジナルミュージカル『サタンクロース☆』を上演。7月のオーディションで選ばれた小学3年生から高校2年生の24人が、8月から稽古を重ねて新作に挑む。
☎伊賀市文化会館
Tel. 0595-22-0511



『サタンクロース☆』舞台稽古の様子

●滋賀県近江八幡市 12月21日
文芸セミナリヨ クリスマスコンサート2025 ～珠玉のオペラ・アリアとクリスマスキャロル～
キリスト教宣教師たちが織田信長の許しを得て安土に開校した神学校の名にちなんで名付けられた「文芸セミナリヨ」。「セミナリヨ」は文化交流の場であり、日本で最初に輸入されたオルガンで西洋音楽が奏でられ、信長もその音色を聴いたとされている。コンサートではイギリス・マンダー社製のパイプオルガンの響きと、びわ湖ホール声楽アンサンブルの歌声を堪能できる。
☎安土文芸セミナリヨ
Tel. 0748-46-6507

●大阪府河内長野市 12月21日
ラブリールホールクリスマスイルミネーション2025関連企画「Xmasイルミネーションライブ」～北欧・ケルトからの贈り物～
毎年の冬の風物詩としてホールの外壁や街路樹を美しく彩るクリスマスイルミネーション。今年は関連企画として、大ホールのはワイエを会場に、イルミネーションとともに歌と多彩な民族楽器の演奏を楽しめるクリスマ

スライブを開催。ノルウェーやアイルランドの伝統的なクリスマスソングの演奏も予定している。
〔図〕河内長野市立文化会館ラブリールホール Tel. 0721-56-6100

●兵庫県姫路市 12月14日
0さいからの!オルガンクリスマスコンサート「オルガンとリズムであそぼう」

姫路市出身のオルガニスト・長田真実とパーカッショニストの牧野美沙が出演し、子ども向けオルガンイベントでお馴染みの“パイプくん”こと小嶋真介を案内人ゲストに迎え、0歳から参加できるクリスマスコンサートを開催。荘厳な響きのパイプオルガンと打楽器のリズムが舞う、見ても聴いても楽しい心躍る公演をお届けする。
〔図〕バルナソスホール(姫路市立姫路高等学校音楽ホール) Tel. 079-297-1141



2020年オルガンコンサートの様子

●鳥取県鳥取市 12月21日
アートSQUARE夢空間vol.44
クリスマスコンサート

会館の特性を活かしながら、気軽に芸術文化に親しんでもらうことを目的に「アートSQUARE夢空間」シリーズとして開催されている参加型企画。今回は、鳥取市出身および在住アーティストによるクリスマスソングや『くるみ割り人形』の話を演奏付きで披露。終演後には楽器体験コーナーも実施。音楽を通じて交流を育むひとときとなる。
〔図〕とりぎん文化会館 Tel. 0857-21-8700

●広島県福山市 12月7日
クリスマス・ガラ・コンサート

福山市出身・在住および活動の拠点としている「リーデンローズ登録アーティスト」が出演するコンサートを開催。さまざまな世代が楽しめるよう、定番のクリスマスソングやクラシック曲、有名な童話を音楽とお話で繰り広げるプログラムなど盛りだくさん。多彩な音色が織りなす華やかなステージを楽しいトークとともにお届けする。
〔図〕福山市沼隈サンパルホール Tel. 084-987-1866

●佐賀県有田町 12月13日、14日、20日、21日
アリタ・マシュマロ・クリスマス
2025

有田焼とマシュマロをテーマに、昨年8万人を魅了した有田町の冬の風物詩。今年も巨大なマシュマロツリーで楽しむ「マシュマロ狩り」や有田焼のカップで作るミニマシュマロツリーづくりなどを体験できるほか、大好評のチョコレートファウンテンが、今年はお好きな有田焼のお皿を選べるスタイルに。世界に誇る有田焼の価値にふれる特別な4日間をお届けする。
〔図〕アリタセラ 図アリタセラクリスマスイベント実行委員会事務局(佐賀県文化課内) Tel. 0952-25-7253

●大分県大分市 12月13日
アートプラザ クリスマスアートマーケットvol.49

磯崎新設計の旧大分県立大分図書館(1966年竣工、2022年登録有形文化財登録)を活用した芸術文化の複合施設「アートプラザ」では、大分県内で活動するアーティストやものづくり作家の作品を展示・販売するアートマーケットを年に3回開催している。49回目となる今回はクリス

マスに関連した作品展示・販売のほか、ワークショップ、音楽イベントも開催する。

〔図〕アートプラザ Tel. 097-538-5000



アートマーケット開催の様子

年越し・新春企画

●札幌市 1月10日
Kitaraのニューイヤー ～オペラ
アリア名曲選～

指揮に「Kitaraのニューイヤー」ではおなじみの原田慶太楼、オペラ歌手には森麻季・森谷真理(ソプラノ)、大西宇宙(バリトン)を迎え、札幌交響楽団と共にオペラの名曲をたっぷり届ける新春コンサート。圧倒的な歌声と壮大なオーケストラサウンド、そして新年にふさわしい華やかなステージは、オペラ初心者でも存分に楽しむことができる。
〔図〕札幌コンサートホールKitara Tel. 011-520-2000

●群馬県高崎市 1月1日
第36回高崎元旦コンサート

高崎芸術劇場を拠点とし、創立から80年を迎えた群馬交響楽団と劇場芸術監督の友友直人の指揮による元旦恒例のコンサート。今回のゲストは、森野美咲(ソプラノ)、中野りな(ヴァイオリン)、福岡洸太郎(ピアノ)。J.シュトラウス2世『こうもり』の序曲など、年始にふさわしい名曲の数々で、新年の始まりを寿ぐ。
〔図〕高崎芸術劇場 Tel. 027-321-7300

●さいたま市 1月10日
RaiBoC Hall ニューイヤーコンサート2026

梅田俊明の指揮に東京フィルハーモニー交響楽団の演奏で、華やかな名曲をお届けする毎年恒例のニューイヤーコンサート。今年はヴァイオリニストの神尾真由子を迎え、司会の朝岡聡と楽しいトークも。入り口では獅子舞がお出迎えして新春を祝い、「お年玉プレゼント抽選会」では当選した方がオーケストラの指揮をすることができるなど、イベント盛りだくさん。
〔図〕RaiBoC(レイボック) Hall (市民会館おのみや) 大ホール Tel. 048-641-6131

●神奈川県横須賀市 1月10日
ニューイヤーコンサート2026
新春を寿ぐ、和の饗宴

丸田美紀(箏・十七絃)と藤原道山(尺八)が、池上眞吾(箏・三絃)や和楽器アンサンブルと贈るニューイヤーコンサート。前半は古き佳き作品『春の海』のほか、邦楽人気をけん引する演奏家・作曲家の池上眞吾作品を演奏。後半はテリー・ライリー『In C』を邦楽器のみで演奏し、新年の幕開けにふさわしい攻めたプログラムで邦楽の新たな魅力を引き出す。
〔図〕ヨコスカ・ベイサイド・ポケット 図横須賀芸術劇場 Tel. 046-828-1602



「春に愉しむ邦楽の調べ」(2023年) 提供:横須賀芸術劇場

●神奈川県藤沢市 12月27日
藤沢市民オペラによる「第九」
ベートーヴェン 交響曲第9番
二短調 作品125「合唱付き」

市民オペラの草分け的存在である「藤沢市民オペラ」の第九演奏会。市民オペラに毎回出演する市民管弦楽団や市民合唱団に加え、藤沢ジュニアオーケストラと一般公募による合唱団が、芸術監督・園田隆一郎の指揮で共演。藤沢市民会館の開館記念の演目であった「第九」を、2026年3月に迫る建て替えによる長期休館を前に、感謝を込めて演奏する。

㊤ 藤沢市民会館大ホール
㊤ 藤沢市みらい創造財団
Tel. 0466-28-1135

●長野県長野市 12月14日
ベートーヴェン第九 年の瀬コンサート 歓喜の饗宴 FINAL

今年で10回目となる第九コンサートがついにファイナルを迎える。その集大成にふさわしく、豪華メンバーを揃え年の瀬を飾る。指揮には世界的に活躍するユベール・スダーンを招き、豪華ソリストと東京交響楽団、一般公募による300人を上回る合唱団が共演。県内の小中高生が参加する「NOVAキッズオーケストラ」もスダーンの指揮で演奏を披露する。

㊤ ㊤ ホクト文化ホール
Tel. 026-226-0008

●滋賀県大津市 12月31日
びわ湖ホール ジルヴェスター・コンサート 2025

びわ湖ホール開館以来、毎年開催している大晦日コンサート。今年もクラシック愛好家で知られる桂米團治が司会を務め、大阪交響楽団が多彩なゲストと共演。指揮はびわ湖ホール芸術監督・阪哲朗。久末航がピアノ協奏曲第3番を演奏し、中嶋彰子（ソプラノ）、藤木大地（カウンターテナー）を招いて『こうもり』ハイライトをお届けする。今年はジルヴェスター合唱団に小中学生

も加わり、よりにぎやかにお贈りする。

㊤ ㊤ 滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール Tel. 077-523-7136



昨年の様子

●京都府城陽市 1月11日
文化パルク城陽開館30周年記念事業 ニューイヤーコンサート2026

全日本学生音楽コンクール高校・大学両部門で声楽史上初連覇を果たしたソプラノ歌手・野々村彩乃と関西フィルハーモニー管弦楽団の共演。指揮は関西フィル総監督の藤岡幸夫。喜歌劇『こうもり』より『チャールダーシュ』や、美空ひばりの『川の流れのように』など、名曲揃いのラインナップで開館30周年と新年の幕開けを飾る。

㊤ ㊤ 文化パルク城陽プラムホール Tel. 0774-55-1010

●兵庫県西宮市 1月8日
2026 ニューイヤー・コンサート～弦楽&管楽による華麗なアンサンブルの調べ～

西宮市民会館を飛び出し、市内の他ホールでも展開してきた毎年恒例のニューイヤー・コンサート。今年は、西宮ゆかりの10名の演奏家が出演し、弦楽と管楽の華麗なアンサンブルでヨハン・



昨年のニューイヤー・コンサート

シュトラウス2世のポルカやファルカシュの17世紀の古いハンガリー舞曲など多彩なプログラムを楽しめる。また、一足先に魅力を先取りできる室内楽のブレ企画も開催される。

㊤ 兵庫県立芸術文化センター
神戸女学院小ホール
㊤ 西宮市文化振興財団
Tel. 0798-33-3146

●兵庫県朝来市
12月6日～1月12日
アート2026干支展(午)

1999年から開催し、年末・年始の恒例となっている企画展。あさご芸術の森美術館にゆかりのある作家が、絵画や彫刻、工芸、書など幅広い分野で、さまざまな手法と素材を使い、バラエティー豊かに2026年の干支である「午(うま)」を表現する。今回は計30人の作家が出展。会場の作品には購入可能なものもある。

㊤ ㊤ あさご芸術の森美術館
Tel. 079-670-4111

●岡山県真庭市 12月21日
エスパス第九演奏会

毎年恒例のクリスマス時期に開催している第九演奏会。エスパス混声合唱団、エスパス少年少女合唱団に一般からの公募者を加えた、この日のためだけに結成された「エスパス第九合唱団」、県内外の演奏家に参加する「エスパス第九管弦楽団」の共演で、第九やヴェルディ「レクイエム」の名曲を披露する。

㊤ エスパスホール
㊤ 真庭エスパス文化振興財団
Tel. 0867-42-7000

●広島県呉市 1月18日
2026くれニューイヤーコンサート
広島交響楽団による恒例のニューイヤーコンサート。末廣誠の指揮のもと、迫力のサウンドで

新年の幕開けを華麗に彩る。ソリストには、日本を拠点に世界各地で活躍するヴァイオリニストの廣津留すみれを迎え、オール・チャイコフスキー・プログラムで、『眠れる森の美女』や『くるみ割り人形』といった名曲を演奏予定。

㊤ ㊤ 呉信用金庫ホール
Tel. 0823-25-7878

●山口県防府市 1月9日～12日
**第25回防府音楽祭
〈ほうふニューイヤーコンサート2026〉**

防府市出身のチェロ奏者・田中雅弘を音楽監督として新年に開催するクラシックの祭典が今年で25周年を迎える。前半2日間は誰でも本格的な音楽を楽しめるコンサートを市内各所で開催し、後半2日間は、所属する団体の枠を超えて集結したスペシャル・オーケストラ「防府音楽祭管弦楽団」を中心にオペラ『カルメン』を披露するなど、新年を華々しく彩る。

㊤ ㊤ 防府市地域交流センター（アスピラート）
Tel. 0835-26-5151

●香川県丸亀市 12月14日
2025まるがめ第九演奏会

日本で初めて第九を演奏したとされるドイツ兵俘虜楽団ゆかりの地・丸亀で毎年開催している恒例の第九演奏会。市制施行20周年となる今回は、田中一嘉を指揮者に迎え、丸亀シティフィルハーモニックオーケストラ(MCO)演奏のもと、まるがめ第九合唱団が丸亀市出身の平尾朱音(ソプラノ)をはじめとする歌手と共演。ロビーでは、ドイツ兵俘虜パネル展なども実施する。㊤ ㊤ 丸亀市綾歌総合文化会館アイレックス Tel. 0877-86-6800

地域通信

●データの見方

情報は地域ブロック別に、開催地の北から順に掲載してあります。●で表示してあるのは開催地です。📍マークが付いている事業は地域創造の助成事業です。ラインの下は、事業運営主体、住所、電話番号、担当者名の順に記載してあります。色帯部分が事業名で、以下、内容を紹介しています。

●地域ブロック

[北海道・東北] 北海道、青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島

[関東] 茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川

[北陸・中部] 新潟、富山、石川、福井、山梨、長野、岐阜、静岡、愛知

[近畿] 三重、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山

[中国・四国] 鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知

[九州・沖縄] 福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

●情報提供先

ファックス、電話、e-mailでお願いします。
Fax. 03-5573-4060 Tel. 03-5573-4093
letter@jafra.or.jp
芸術環境部 伊藤・中嶋

●2026年2月号情報締切

2025年12月17日(水)

●2026年2月号掲載対象情報

2026年2月～4月に開催もしくは募集されるもの

北海道・東北

●北海道美瑛町

美瑛つながるプロジェクト実行委員会(文化スポーツ課文化振興係)

〒071-0292 上川郡美瑛町本町4-6-1

Tel. 0166-92-4141 原子・熊倉

<https://www.facebook.com/hoshibiei/>

美瑛・星のかけらプロジェクト

「みんなでつくる音楽劇」

「星空の街・あおぞらの街」全国大会in美瑛をきっかけに始動したまちづくりのプロジェクト。演出家・清水友陽、朗読家・鈴木佳由、音楽家・西井夕紀子のほか、美瑛にある「美宙天文台」の名誉台長・佐治晴夫氏もクリエイティブ・アドバイザーとして関わり、公募で集まった3歳～70歳代の町民や美瑛が好きな人総勢60人と共に「みんな、星のかけらでできている」をテーマに音楽劇を創作し上演する。

[日程] 12月27日

[会場] 多目的ホール「美丘」

●山形県庄内町

響ホール事業推進協議会

〒999-7781 東田川郡庄内町余目字仲谷地280

Tel. 0234-45-1433 難波

<https://www.hibikihall.jp/>

福田進一 with 加羽沢美濃 & 村治奏一 コンサート

庄内町在住、日本が世界に誇るクラシックギタリストである福田進一の70歳を祝した記念コンサート。作曲家・ピアニストの加羽沢美濃と、幼少期より福田の指導を受け、さまざまな分野で活躍するギタリスト・村治奏一を迎え、ソロ、デュオ、トリオとさまざまな組み合わせで演奏を披露する。映画音楽を中心にリクエストコーナーなども行う一夜限りのスペシャル・コンサート。

[日程] 12月5日

[会場] 庄内町文化創造館 響ホール

関東

●栃木県栃木市

栃木市立美術館

〒328-0016 栃木市入舟町7-26

Tel. 0282-25-5300 形井杏奈

<https://www.city.tochigi.lg.jp/site/museum-tcam/>

喜多川歌麿と栃木の狂歌

浮世絵師・喜多川歌麿と栃木とのゆかりを紹介する展覧会。江戸時代に流行した文芸である狂歌に添える絵を依頼されることが多かった歌麿は、当時栃木での狂歌流行のけん引役であった通用亭徳成と交流があり、作品の中にその片鱗を見ることが出来る。本展では浮世絵と狂歌のつながりに着目し、歌麿の交流関係や地方の文化発展の様子を紹介する。

[日程] 10月10日～12月14日

[会場] 栃木市立美術館



徳成の親戚が歌麿に依頼したと伝わる肉筆画三部作の高精細複製画も展示している

●群馬県高崎市

群馬県立近代美術館

〒370-1293 高崎市綿貫町992-1 (群馬の森公園内)

Tel. 027-346-5560 田中龍也

<https://mmag.pref.gunma.jp/>

水野暁 視覚の層 絵画の層

群馬県東吾妻町出身で、同地を拠点に活動する画家・水野暁の作品展。水野は、3～4年をかけて実際に対象と向き合い、その時々に見たもの、感じたことを画面に重ね、季節の移り変わりや年月の経過を1枚の画面に凝縮させる。今回の展示では、

2022年から制作中の榛名湖をモチーフにした大作も初公開され、見る者に壮大な自然を前にした感覚を追体験させる。

[日程] 9月13日～12月16日

[会場] 群馬県立近代美術館

●さいたま市

うらわ美術館

〒330-0062 さいたま市浦和区仲町2-5-1 浦和センチュリーシティ3F

Tel. 048-827-3215 滝口明子

<https://www.city.saitama.lg.jp/urawa-art-museum/>

約束の場所で:ブック・アートで広がるイマジネーション

開館以来、「本をめぐるアート」を収集方針の一つに掲げ、探求と収集に取り組んできたうらわ美術館。開館25周年を記念して開催される本展では、イギリスのサウサンプトン大学、西イングランド大学の協力の下、両大学が長年にわたり研究してきたイギリスのブック・アーティストたちの作品と、1,500件(もしくはタイトル)を超える同館所蔵作品の中から選んだ作品を組み合わせで紹介する。

[日程] 11月15日～2026年1月18日

[会場] うらわ美術館

●東京都北区

北区文化振興財団

〒114-8503 北区王子1-11-1

Tel. 03-5390-1221 田村綾玖子

<https://kitabunka.or.jp/>

北とびあ国際音楽祭2025 ヘンデル作曲

オペラ『ロデリンダ』

毎年開催されている「北とびあ国際音楽祭」会期中はさまざまな催し物が行われ、今年のフィナーレでは、初演から300年を迎えるヘンデルの傑作オペラ『ロデリンダ』が上演される。指揮・ヴァイオリンに寺神戸亮、演出はカンパニーデラシネラの小

▼— 今月の情報

アーツセンター、アーツクルーから寄せられた情報を毎月掲載します

野寺修二が務める。国内外で活躍する歌手が集結し、作曲当時のピリオド楽器を使用したオーケストラが演奏する。

[日程] 11月28日、30日

[会場] 北とびあ

北陸・中部

●新潟市

新潟県立万代島美術館

〒950-0078 新潟市中央区万代島5-1 万代島ビル5F

Tel. 025-290-6655 松本奈穂子
<https://banbi.pref.niigata.lg.jp/>

田畑あきら子展

新潟県出身で生前たった一度だけ個展を開いて亡くなった田畑あきら子(1940～69)。友人をはじめ、その作品を大切に思う人々により語り継がれてきた奇跡の作家の代表作、わずか10点に満たない白い油彩画シリーズを一堂に展示するとともに、200点を超える素描により、その思索の痕跡をたどる。新潟県立の美術館としては初めて、大学・高校生の観覧料が無料になる「学生無料ウィーク」も実施。
[日程] 11月22日～2026年1月12日
[会場] 新潟県立万代島美術館

●新潟県長岡市

長岡市芸術文化振興財団

〒940-2108

長岡市千秋3-1356-6

Tel. 0258-29-7715 殖寿寿史
<https://www.nagaoka-caf.or.jp/lyric/>

リリック・ジュニアフェスティバル2025

長岡市で音楽や舞台芸術活動に励む子どもたちが集うコンサート。選考会を経て出演を決定するピアノやチェロのソロ演奏をはじめ、リリックの人材育成事業として長年力を入れて取り組んできたジュニア育成団体から、長岡少年少女合唱団やリリック・ジュニア・アンサンブル、リリック・ジュニア・ミュージカルが

多彩な演奏を披露する。

[日程] 12月21日

[会場] 長岡リリックホール



昨年開催の様子

●富山県黒部市

黒部市美術館

〒938-0041 黒部市堀切1035 (黒部市総合公園内)

Tel. 0765-52-5011 尺戸智佳子

<https://kurobe-city-art-museum.jp/>

川内理香子 The shape of water hardens into stone.

若手実力派の作家・川内理香子の個展。作家が黒部近郊を訪れた際に目にした自然物がコンセプト構想の一端となった本展では、石を使った新作も展示され、川の流れるように、境界を曖昧にする水から着想を得た展示構成を採用。多層的で循環的な世界観にふれ、自身の身体と出会い直す機会となるような内容となっている。

[日程] 10月25日～12月28日

[会場] 黒部市美術館

●長野県長野市

長野市文化芸術振興財団

〒380-8512 長野市大字鶴賀緑町1613

Tel. 026-219-3100 長谷川裕晃

<https://www.nagano-arts.or.jp/>

魂の歌声 60歳からのゴスペル・コーラス

60歳以上を対象に公募して結成されたゴスペル合唱団・長野市芸術館シニア・ゴスペルクワイアのコンサート。「健康づくり・生きがいがづくり・仲間づくり」を目的に企画され、参加者は62人で平均年齢は67.4歳、最高齢は

82歳。指導するのは日本を代表するゴスペルグループ・亀渕友香&VOJAの中心メンバーだったヨシザワコウタ。参加者と観客どちらも一体感や高揚感を得られるよう生バンドをバックに歌声を届ける。

[日程] 2026年1月25日

[会場] 長野市芸術館

●静岡県磐田市

磐田市民文化会館「かたりあ」

〒438-0831

磐田市上新屋678-1

Tel. 0538-37-8551 堀内訓子

<https://www.kataria.jp/>

IWATA DREAM LIVE 2025

磐田市市制20周年記念事業の一環として開催する、磐田市ゆかりのアーティストによるスペシャルライブ。ふるさと「いわた」への熱い思いをもつ若手ミュージシャンたちにより結成された「いわたドリームバンド」や、オルケスタ・デ・ラ・ルスメンバーを中心とした「IWATA Latin Project」によるラテン音楽を楽しむことができる。

[日程] 12月14日

[会場] 磐田市民文化会館「かたりあ」

●愛知県豊田市

豊田市美術館

〒471-0034 豊田市小坂本町8-5-1

Tel. 0565-34-6610 千葉真智子

<https://www.museum.toyota.aichi.jp/>

開館30周年記念コレクション展「VISION 星と星図」星図Ⅱ：独りと、集団と」

今年で開館30周年を迎える節目にコレクションを見つめ直し、新たな息吹を吹き込む展覧会。第Ⅱ期では、日本の戦後美術の集団的な動向と、その傍らで独り制作を続けた作家たちの2つの軸から紹介する。個々の作品は一つの星のように単独であり

つつも、他の作品と関係しあい、複雑で豊かな星図を描き出す。そのような思考の連なりを実感できる展示となっている。

[日程] 10月4日～12月21日

[会場] 豊田市美術館



齋藤義重《複合体95》(1995年/豊田市美術館蔵)

近畿

●京都市

京都市京セラ美術館

〒606-8344 京都市左京区岡崎岡田勝寺町124

Tel. 075-771-4334 後藤結美子
<https://kyotocity-kyocera.museum/>

特別展 民藝誕生100年 —京都が紡いだ日常の美

京都に約10年にわたり居住した思想家・柳宗悦(1889～1961)らの交遊によって「民衆的な工芸＝民藝」という言葉が誕生して100年。誕生のきっかけとなった木喰仏をはじめ、柳らによる日本全国の蒐集品、民藝関連作家の優品を展示。また、京都における民藝運動の推進者や支援者をめぐる作品や資料などと併せ、京都と民藝との関わりを総合的に紹介する。

[日程] 9月13日～12月7日

[会場] 京都市京セラ美術館

●大阪府茨木市

茨木市文化振興財団

〒567-0888 茨木市駅前4-6-16
Tel. 072-625-3055 坂元優

<https://www.ibabun.jp/>

みんなでつくるダンス公演

『そこから、これから、はぐくまれしもの』

森田かずよ(ダンサー・俳優)と共に、今年で5年目となる障害

のある人もない人も一緒に踊る市民参加公演を実施する。リピーターのみならず初参加の出演者も3割ほど集まり、出演以外にも衣装制作を担う「ibabun手芸部」や、今年は舞台美術の制作まで参加者の輪が広がっている。また、連携する大学も増え、鑑賞に不安のある方への開演前鑑賞ツアーなどの協働のほか、当日ロビーでは研究展示も行われる。

[日程] 12月6日

[会場] 茨木クリエイティブセンター



2024年度みんなで作るダンス公演
撮影：井上嘉和

中国・四国

●島根県浜田市

浜田市世界こども美術館

〒697-0016 浜田市野原町859-1

Tel. 0855-23-8451 門千穂

<https://www.hamada-kodomo-art.com/>

ぼうけん!植物展

“植物”をテーマにした現代美術作品の展覧会。4名のアーティストが多様な手法で、私たちの生活に欠かせない“植物”にアプローチする。木の葉の擦りだしやモノクロ作品への色付けなど、参加型の作品も多数。訪れる人々の手によって、日々作品や展示風景が変化する点もみどころ。また、土日祝日開催の「ホリデー創作活動」では植物にちなんだクラフト体験ができる。

[日程] 10月11日～2026年1月12日

[会場] 浜田市世界こども美術館

●山口県山口市

山口情報芸術センター[YCAM]

〒753-0075 山口市中国町7-7

Tel. 083-901-2222 竹下曉子

<https://www.ycam.jp/>

振子びじん+YCAM

新作パフォーマンス

『せいせいのせんせい』

YCAMでは2024年から「子ども×テクノロジー」をテーマに、パフォーミング・アーツ作品の制作を通じた人材育成プロジェクト「劇場と学校の時間」を展開。本公演はその成果として、「せいせい(生成)」をキーワードにダンサー・振付家の振子びじんら多彩なアーティストが協働制作。子どもから大人まで楽しめる観客体験型作品を上演し、人間とAIの未来を考える契機を提示する。

[日程] 12月12日～20日

[会場] 山口情報芸術センター[YCAM]

●高知県香美市

香美市立美術館

〒782-0041 香美市土佐山田町262-1

Tel. 0887-53-5110 都築房子

<https://www.city.kami.lg.jp/site/bijutukan/>

具象から抽象へ・前衛の興亡

高知県にゆかりのある作家の作品から、高知の洋画表現の変遷をたどる展覧会。1950年代、高知県展では抽象表現が目立ち始め、それまで主流だった具象表現との議論が活発に交わされた。その後、混乱の時代を経て両者は並び立ち、現在の高知の洋画を形づくっている。本展では、新収蔵作品16点を含む具象・抽象の作品展示を通して、そうした洋画の歩みを感じることができる。

[日程] 11月1日～12月21日

[会場] 香美市立美術館

九州・沖縄

●福岡県久留米市

久留米市美術館

〒832-0862 久留米市野中町1015

Tel. 0942-39-1131 森山秀子

<https://www.ishibashi-bunka.jp/kcam/>

ちくごist「深よみ 古賀春江」

筑後にゆかりのある作家を取り上げる展覧会「ちくごist」。今回は、大正から昭和初期にかけての変動の時代を駆け抜けた洋画家・古賀春江(1895～1933)を紹介する。アーティゾン美術館と久留米市美術館の所蔵作品・資料を中心に、幸運にも残された自身のスケッチブックやノート、手紙などを読み解き、彼の素顔と時代を映し出すように変貌する絵画の魅力に迫る。

[日程] 11月8日～2026年1月18日

[会場] 久留米市美術館

●熊本県益城町

益城町文化会館

〒861-2242 上益城郡益城町木山381-1

Tel. 096-286-1511 米原誠司

<https://mashiki-culturehall.net/>

爆笑!肥後にわかくまもとの笑い

熊本弁で演じる風刺と笑い満載の伝統的な即興芝居「肥後にわか」が益城町文化会館に登場。肥後にわか師のばってん城次やキンキラ一太をはじめ、地元で活躍する出演者が集結し、肥後にわか劇『おっかさんのまごころ』やモッチャんの紙芝居、爆笑トークなど多彩な演目を上演。熊本弁の軽妙な語り口と即興のかけ合いを存分に楽しめる。

[日程] 2026年1月10日

[会場] 益城町文化会館



肥後にわか

●大分県大分市

大分県立美術館

〒870-0036 大分市寿町2-1

Tel. 097-533-4500 宗像晋作

<https://www.opam.jp/>

OPAM開館10周年記念

「きらめく日本美術 1300年の至宝展」

古代から近世に至るまで、旧豊前・豊後の地域に伝わる古美術の数々に焦点を当て、大分ならではの美の特色を探る展覧会。京都や江戸、中国といった「中央」の文化との交流の中で、独自に発展していった大分の美術。その全貌を初めて明らかにし、大分で育まれた美術の魅力と価値を再発見することで、現代へと繋がる文化の軌跡をたどる。

[日程] 11月22日～2026年1月14日

[会場] 大分県立美術館

●沖縄県那覇市

那覇文化芸術劇場なはーと

〒900-0015 那覇市久茂地3-26-27

Tel. 098-861-7810 土屋・平岡・池根

<https://www.nahart.jp/>

プレヒト×沖縄芝居新作プロジェクト 2023-2025

沖縄芝居「花染小の美ら姉」

(はなずみぐわーぬちゅらんみー)

ドイツの劇作家プレヒトによる『ゼチュアンの善人』を下敷きに、3年をかけて沖縄芝居を制作するプロジェクト。1年目は林立騎の新翻訳、新井章仁の演出で、現代演劇の俳優によるリーディング試演会を実施。2年目は言葉に重きを置き、嘉数道彦が創作した戯曲を、琉球古典芸能の担い手により朗読劇として公開。3年目はいよいよ沖縄芝居を上演。13人の市民出演者も公演を盛り上げる。

[日程] 12月14日

[会場] 那覇文化芸術劇場なはーと

▼今月の情報(アーツセンター編)

新たにオープンした公立のアーツセンターを紹介します

アーツセンター情報

●データの見方

情報は所在地の北から順に掲載しています。●で表示してあるのはアーツセンターの所在地です。以下名称、住所、電話番号、公式サイトURLを記載しています。また、基礎データとして、設置者、運営者、ホール席数など施設概要を紹介しています。

●情報提供のお願い

地域創造では、地域の芸術環境づくりを積極的に推進するアーツセンター(ホール、美術館などの施設のほか、ソフトの運営主体も含みます)の情報を収集しています。特に、新規の計画やオープンなどのトピックスについては、この情報欄に掲載していく予定です。このページに掲載を希望する情報がございましたら、下記担当までご連絡ください。

●情報提供先

芸術環境部 伊藤
Fax. 03-5573-4060
Tel. 03-5573-4093
letter@jafra.or.jp

●新潟県小千谷市

小千谷市ひと・まち・文化共創拠点ホントカ。

〒947-0021 小千谷市本町1-13-35

Tel. 0258-82-2724

<https://hontoka.city.ojiya.niigata.jp/>

◎2024年9月28日オープン



「賑わい・交流・憩いの創出」を目的に、中心市街地に位置する旧総合病院の跡地に整備された、旧図書館の移設を核とした複合施設。市民と行政の対話の場を立ち上げ、計画段階から市民との共創に取り組む。

活動や交流の場「アンカー」、動く書架を取り入れ資料と資料の新しい関係性を生む場「フロート」、これらのエリアを覆うように広がる大屋根「ルーフ」という特徴的な空間構成により、多くの図書が集積され、知の世界へ没入していく場(知アンカー)や市内初の博物館施設である郷土資料館(博アンカー)、表現と発信の場である市民活動エリア(演アンカー)やスタジオ(響アンカー)などのほか、雪の日にも子どもたちが安全に遊べる屋内広場を集約。多様な情報や活動と出会い新しいアイデアを実現する賑わい拠点として、市内外から多くの人が訪れる。

[オープニング事業]ホントカ。誕生祭

[施設概要]9つのアンカー(知、博、演、響、発、子、和、創、食)、フロートエリア、屋内広場、屋上(ルーフ)ほか

[設置・管理・運営者]小千谷市
[設計者](株)平田晃久建築設計事務所

●長野県中野市

中野市市民会館 ソソラホール

〒383-0025 中野市三好町1-3-12

Tel. 0269-38-6250

<https://sosora-hall.jp/>

◎2024年5月1日新装オープン



1969年竣工の市民会館が耐震面等での課題を受け、「安全・安心」「利用しやすさ」「地域文化拠点として新たな価値創造」を掲げ全面リニューアル。愛称の「ソソラ」は、中野市出身の作曲家・中山晋平の童謡『兔のダンス』の冒頭フレーズ「ソソラ・ソラソラ・うさぎのダンス」に由来。

文化芸術の拠点として誰もが利用しやすい施設となる大ホールには、観客と演者の一体感を高める囲み型の客席や親子鑑賞室、車椅子席なども設けている。また、1階、2階の廊下は、「ギャラリー回廊」となっており、展示空間として利用できるほか、市民の居場所となるラウンジとしても活用できる。

今後も市民がいつでも利用でき、「うきうき」「わくわく」「いきいき」をコンセプトに文化交流ができる施設を目指している。

[オープニング事業]久石譲出演 新日本フィルハーモニー交響楽団 中野市特別演奏会、ソソラ市民劇場 ほか

[施設概要]大ホール(781席)、小ホール(170席)、リハーサル室、スタジオ、展示スペース ほか

[設置者]中野市
[管理・運営者](株)岩野商会
[設計者]環境デザイン研究所・宮本忠長建築設計事務所 共同企業体

●大阪府熊取町

熊取町文化ホール
キテーネホール

〒590-0451 泉南郡熊取町野田2-9-15

Tel. 072-429-9125

https://www.town.kumatori.lg.jp/bunka_sports/shisetsu/kominkan/index.html

◎2024年4月1日オープン



町民会館ホールの老朽化を受け、公民館をリニューアル整備するとともに、ホールを新設。ホールの名称「キテーネ」は一般公募によるもので、ヨーロッパの文化発祥の地・ギリシアの「アテネ」と、「来てね」を掛け合わせたもの。

ホールは本格的な舞台設備、音響性能の整備を重点的に設計。座席数は少数ながら、「オールS席」として好評を得ている。ホワイエと建物正面の「大屋根広場」を繋ぐガラス扉を解放することで、ホワイエとホールを一体利用することも可能。SDGsの取り組みとしてホール屋根部分に太陽光パネルも設置するほか、軒下のルーバーなど木材を随所に使用し、訪れる人にとって居心地の良い「文化芸術活動の拠点」となっている。

[オープニング事業]能楽「高砂」、日本センチュリー交響楽団スペシャルコンサート、松平健コンサート ほか

[施設概要]キテーネホール(382席)、リハーサル室/かむかむプラザ(公民館):文化・交流ラウンジ、文化創造室、創作室、和室、講座室 ほか

[設置・管理・運営者]熊取町
[設計者](株)アール・アイ・エー 大阪支社

財団からのお知らせ

●令和8年度「公共ホール音楽活性化事業(おんかつ)」[「公共ホール邦楽活性化事業」スタッフ募集

公共ホール音楽活性化事業(おんかつ)は、当事業に登録しているクラシック音楽の演奏家と、クラシック音楽事業の企画制作について経験が豊富な専門家(コーディネーター)を公共ホールへ派遣し、身近で親しみのある「コンサート」と地域住民との交流を図る「アクティビティ」を実施するものです。

また公共ホール邦楽活性化事業は、当事業に登録している邦楽の演奏家と、邦楽事業の企画制作について経験が豊富な専門家(コーディネーター)を公共ホールへ派遣し、身近で親しみのある「コンサート」と地域住民との交流を図る「アクティビティ」を実施するものです。

両事業において、コーディネーターの補助業務を担当していただく、サブコーディネーター・アシスタント、研修スタッフを募集します(研修スタッフはおんかつのみ募集)。

◎募集概要

サブコーディネーターとアシスタントは、文化・芸術分野の公演、アウトリーチやワークショップなど、地域の文化・芸術活動に関わった経験のある方などを対象とし、地域におけるアウトリーチ活動や当事業の中核となって活躍する人材の育成を目的としています。

研修スタッフは、公共ホールの職員を対象にアウトリーチ事業の企画制作等について実践的な研修を実施し、地域の文化・芸術を担う

人材の育成に加え、地域間の相互交流の促進も担っています。

募集要項および応募用紙は当財団ホームページに掲載しています。詳細は担当までお問い合わせください。

募集締切：2026年1月13日(火) 必着

◎公共ホール音楽活性化事業(おんかつ) サブコーディネーター・アシスタント・研修スタッフの募集要項は下記よりご覧いただけます。

<https://www.jafra.or.jp/project/music/01.html>



◎公共ホール邦楽活性化事業サブコーディネーター・アシスタントの募集要項は下記よりご覧いただけます。

<https://www.jafra.or.jp/project/music/04.html>



●令和8年度ステージラボ開催地のお知らせ

ステージラボは、公立文化施設等の職員を対象にした少人数形式の実践的な研修事業で、毎年、前・後期の2回開催しています。

令和8年度は、前期(2026年7月上旬)に荘銀タクト鶴岡(山形県鶴岡市)で2コースを実施、後期(2027年2月上旬)に四日市市文化会館(三重県四日市市)で3コースを実施予定です。詳細は地域創造レターおよびホームページでお伝えします。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

●令和7年度「公立文化施設における政策評価等のあり方に関する調査研究」実態把握アンケートご協力をお願い

地域創造レター10月号(9月25日発行)にてご案内させていただきましたとおり、当財団では、今年度より「公立文化施設における政策評価等のあり方に関する調査」をテーマに、事業や施策の価値を可視化し、今後の事業展開や施設運営につなげていくような評価のあり方について調査を行っております。

11月に各自治体、公立文化施設(対象施設のみ)宛てに調査票をお送りさせていただきました。お忙しいところ誠に恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、お願いいたします。

ご回答期限：12月1日(月)まで

※ウェブフォーム(または調査票)からご回答ください。

回答に際し、不具合、ご不明点等ございましたら、担当までご連絡ください。

●公共ホール音楽活性化事業に関する問い合わせ
芸術環境部 金山
Tel. 03-5573-4168

●公共ホール邦楽活性化事業に関する問い合わせ
芸術環境部 渡邊
Tel. 03-5573-4143

●ステージラボに関する問い合わせ
芸術環境部 児島・嶋崎
Tel. 03-5573-4183

●調査研究アンケートに関する問い合わせ
芸術環境部 中嶋・児島・嶋崎・伊藤
Tel. 03-5573-4066

●WEBでの情報発信のお知らせ

地域創造ではWEBでの情報発信にも力を入れています。財団ホームページでは、当財団のこれまでの事業実績や地域創造レターのバックナンバー、各種報告書もご覧いただけます。

また、登録アーティスト情報をデータベースとして検索できるほか、プロフィール等を掲載したアーティストパンフレットも公開しています。

「地域文化資産ポータルサイト」では、全国各地の伝統芸能等の映像を掲載。地域、分類、開催月から検索できるアーカイブとなっています。

そのほか、「地域創造公式YouTubeチャンネル」やFacebookでも随時情報発信をしています。地域創造レターと併せて、ぜひご活用ください。

◎地域創造ホームページ
<https://www.jafra.or.jp/>



◎登録アーティストパンフレット一覧ページ
<https://www.jafra.or.jp/profile-pamphlet>



◎地域文化資産ポータルサイト
<https://bunkashisan.ne.jp>



◎地域創造公式YouTubeチャンネル
https://www.youtube.com/channel/UCQzyG0gkEMVvdjkLVPh4r_A



◎地域創造公式Facebook
<https://www.facebook.com/RegionalArtActivities/>



●令和7年度市町村長特別セミナー「地域経営塾」終了報告

地域創造では、文化・芸術による地域づくりへの理解を深めていただくため、総務省、全国市町村国際文化研修所(JIAM)の共催により「市町村長特別セミナー『地域経営塾』」を実施しています。今年は11月4日、5日の2日間にわたって開催され、1日目には文化・芸術による地域づくりに関する講義と、おんかつ支援登録アーティストによるアウトリーチ体験(ミニコンサート)を実施しました。

京都芸術センター副館長の山本麻友美さんによる講義では、「文化がつくる好循環—アート×ビジネス推進事業から見てきたこと—」と題し、文化がもたらす経済以外の価値や効果について事例紹介を交えながらご講義いただきました。

これまで文化政策は、金銭的支援や作品購入などによって、アート市場、そして経済を活性化させるものが主流でしたが(=文化と経済の好循環)、それだけでは文化資源の消耗となり、経済効果にも限界がありました。そこで今、文化がもたらす非金銭的な価値に目が向けられている、というものです。その価値とは、関係性、信頼、創造性。「文化は、人と人を結び、地域の力を生み出す“社会のインフラ”」となり得ることでした。

京都芸術センターでも、滞在制作のサポートや、企業とアーティストとの対話づくり、企業向けの演劇ワークショップなど、さまざまな関係性や共創を生み出す取り組みを行い、滞在制作には世界

中から、約1,500組の申し込みがあったそうです。

「芸術は人の誇りと地域への信頼を再生する力をもつ。一朝一夕では効果が見えないが、長期的な視野で文化政策を考えてもらいたい」という山本さんの言葉に、参加者は熱心に耳を傾けていました。

講義に続いて行われた、ソプラノ歌手の梅津碧さんによるアウトリーチ体験では、梅津さんのパワフルで美しい歌声に軽妙なトーク、そして『きらきら星』を参加者も実際に歌唱するなど、多彩なプログラムとなりました。最後に、梅津さんがオペラ歌手になったきっかけである、大学生の時に偶然観たオペラの舞台についてのお話があり、そんな人生を変えるような出会いになれたらという思いでアウトリーチを行っている、と締めくくられました。



梅津碧さん(ピアノ:石野真穂さん)によるミニコンサート

▼— 今月のレポート

財団の支援事業や地域の創造活動に参考になる催しを取り上げて
レポートします

岩手県陸前高田市

国際共同制作 『髪長姫』—アジア の響き、未来への 祈り—ワーク・イン・ プログレス



『髪長姫』 撮影：船橋陽馬

●国際共同制作『髪長姫』
[総合演出・監修] 前川十之朗
[演出・音楽監督・出演] アノン・スネコ
(インドネシア)
[舞台美術] 井上信太
[衣装・出演] 赤丸急上昇
[出演] インドネシア：ブルモノ、ジャル |
台湾：陳世興、陳光輝 | 日本：鯨神楽(青
森県八戸市)／畑中大河、小亀美和、大
宮神楽(岩手県田野畑村)／山本高、関
口誠、工藤淳泰、山根想貴、現代アー
ティスト／磯島未来、大宮大奨、大部仁、
佐藤公哉 ほか
[会期・会場] ショーケース公演＝2025
年10月12日：奇跡の一本松ホール／本公
演＝2026年2月28日、3月1日：八戸市
南郷文化ホール
[主催] 一般社団法人三陸まちづくりART、
みんなのしるし合同会社
[共催] 独立行政法人国際交流基金、三
陸国際芸術推進委員会、八戸市、田野畑
村、陸前高田市、八戸市(八戸公演のみ)
[共同制作] みんなのしるし合同会社、独
立行政法人国際交流基金

*三陸ブルーラインプロジェクト
子どもたちとつくったモザイクタイルで防
潮堤を彩り、災害の記憶を刻むアートプ
ロジェクト(一般社団法人三陸まちづくり
ART)として、2022年からスタート。これま
で大船渡市や宮古市で開催。

10月12日、陸前高田市・奇跡の一本松ホ
ールで国際共同制作『髪長姫』のワーク・イン・プ
ログレスが行われた。自然災害と共に生きてき
た日本・インドネシア・台湾の民族芸能の担い
手と、現代音楽家・コンテンポラリーダンサー・
現代美術家等が結集する新作舞台だ。東日本
大震災後に始まった三陸国際芸術祭やアー
ティスト・イン・レジデンス事業などの積み重ね
から立ち上がった取り組み取材した。



今回の『髪長姫』は、宮古市に伝わる「海で
行方知れずとなった娘が龍神に守られて戻り、
その子(龍神の子)が地域を変える兆しとなる」
という伝承から着想したものだ。日本からは山
伏神楽である鯨神楽(八戸市)と大宮神楽(田野
畑村)の若手有志が参加。2部構成で、第1部で
は、自然災害や圧政という苦しみ、山伏との出
会い、竜宮への導きといったシーンが、神楽の
リズム、インドネシアの歌、コンテンポラリーダン
サーの群舞などで表現されていた。祭りの群舞
から始まる第2部では、海洋プラスチックごみ
をまとった巨大老婆から〈髪長姫〉が誕生する
印象的なシーンもあり、まだ未完成ながら不思議な
コラボレーションが出現していた。

音楽はシーン毎に国別の作曲家が担当し、3
カ国の奏者が参加した竹笛や太鼓、シンセサイ
ザー、ガムラン等によるアンサンブルが生演奏。
出演しているコンテンポラリーダンサー4
名と音楽家2名は、みんな三陸で芸能を学ん
だことのある経験者で、鯨神楽や大宮神楽は
こうしたアーティストたちの受け入れ先となって
きた。また、舞台美術を担った美術家の井上
信太さんは2017年から被災地に入り、2022年
には防潮堤アート「三陸ブルーラインプロジェク
ト」(*)をスタートするなど継続的に交流。インド
ネシアからの参加者もコロナ禍の三陸国際芸術
祭で本作の前身となる『髪長姫(映像作品)』を
クリエイションしたメンバーであり、お互いを
リスペクトする関係が出来上がっていた。

こうしたコラボレーションの背景にあるのが、
東日本大震災後に始まった文化による震災復興
の取り組みだ。JCDN(ジャパン・コンテンポ

ラリーダンス・ネットワーク)による「習いに行け
ぜ!」、三陸国際芸術祭の一環である「芸能短期
留学」、宮古市民会館による「三陸AIR」、岩
手県沿岸振興局による「三陸の芸能を生かした
地域活性化事業」など。三陸沿岸では現在
も郷土芸能を学ぶ交流型のアーティスト・イン・
レジデンス事業が継続的に行われている。

今回、多くの楽曲で太鼓演奏を担った大宮
神楽の工藤淳泰さんは、「人口が減少するなか、
柔軟な活動も必要となっている。今回のような
プロとの協働は、継承してきた芸能への新たな
気づきをもたらしてくれる。現代的な音楽に聞
こえたかもしれないが、榊葉や山の神といった
神楽演目の拍子が土台になっている。インドネ
シアの芸能の足運びも神楽と通じるものがあり、
同じ目線で教えあう時間が成長の機会とな
った」と言う。

作曲・演奏で参加した現代音楽家の佐藤公
哉さんは、これまでに神楽や剣舞、獅子躍など
を習い、「NEO KAGURA」などにも取り組む逸
材。「大宮神楽に滞在し、神楽の旋律・拍子・歌
から作曲した経験が今回に繋がった。工藤さん
の太鼓は要所要所で“呼吸”を支えてくれた。“人
間対人間”にとどまらない芸能の視点、芸能の
心持ちが“音”を変えたいと思っている」と佐藤さん。

総合演出の前川十之朗さんは、震災後に大
船渡市に移住し、郷土芸能の担い手とアーティ
ストの出会いをコーディネートしてきた。「髪長
姫では、人口流出が続く厳しい三陸の現実と
芸能の伝承を重ねて描きたかった。私たちに
とって地域を変える予兆の“龍神の子”とは芸能
の申し子である若い伝承者のこと。彼らを国際
的な創作の場へつなげたかった」と言う。

髪長姫を務めた鯨神楽の畑中大河さんは山
伏神楽の再興と発展を目的とした新たな神楽
イベントを立ち上げ、同じく出演した小亀美和
さんは神楽をベースにした創作ダンスに取り組
んでいるという。多くのアーティストを受け入れ、
神楽とアーティストの交流を目の当たりにしてき
たこうした新世代の取り組みが、地域を変える
新たな兆しと言えるのかもしれない。

(アートNPOプロデューサー・坂田雄平)